

## 八潮市シティセールスプラン(見直し案)のパブリックコメント実施結果と対応について

### 1 意見募集期間

令和3年12月10日から令和4年1月11日まで(33日間)

### 2 意見提出者・件数

提出者数 2人  
意見件数 5件

### 3 意見と市の考え方

反映区分

A: 意見を反映し、案を修正する(した)

B: すでに案で対応している

C: 案の修正はしないが、実施段階で参考としていく

D: 意見を反映できなかった(しない)

E: その他

### パブリックコメントの意見と対応

意見番号	箇所	ご意見の要旨	市の対応・考え方	反映区分
1	P9	「さくらカード」の利用促進がこの10年以上ほとんど行われていないように感じます。こちらで取り上げるのであれば、もっと利用促進のために力をいれるべきであり、今までと同じような活用や広報であれば、こちらで記載するべきではないと考えます。	「商業の特徴」として記載した「さくらカード」事業は、本プラン策定時において、八潮市商工会ですで行われていた事業であり、現在も事業が継続されています。市としても、商業振興施策の一つとして重要なものであると認識しています。また、市では、本事業に対し、補助金交付等の支援を行っていることから、ご意見は、今後、シティセールスプランを推進していく中で参考とさせていただきます。	C
2	P29	広報やしおについて、見やすさや読みやすさを工夫されることはとても素晴らしいことですが、さらに市民に手に取ってもらえる工夫も記載するべきではないでしょうか。	28～31ページには、八潮市の都市イメージを向上させるための情報発信の手段について記載しています。広報やしおをさらに市民に手に取ってもらえるように工夫していくことは、本プランの推進に当たり不可欠なことと認識していますので、ご意見は、今後、シティセールスプランを推進していく中で参考とさせていただきます。	C
3	P33	学校給食における地元農産物の活用による食育活動と書かれているが、ハッピーこまちゃんデー以外で提供される小松菜は地元農産物ではなく、実際給食現場でも地元農産物の使用は難しいと発言しており、常に使う意識がないのであればここに掲載する内容ではないと考えられます。	保育所や学校給食では、地元農産物を使用したメニューが提供されることもあり、農業への理解や食への関心を深める機会となっています。このため、記載内容については、案のとおりいたします。	D

4	P33	<p>ハッピーこまちゃんデーの開催とあり、「毎月八の日は『はっぴーこまちゃんデー』とし、新鮮な野菜を給食で提供します」とありますが、現在の給食では小松菜は熊本産の冷凍野菜を使っています。環境負荷の少ない地元産の野菜を使うことは大変良いことですが、月1回のはっぴーこまちゃんデーだけでなく、もっと地元産の野菜を使うように、出来れば有機栽培の野菜を使ってもらいたい。そして、地元産野菜を使ったら、給食の時間にその生産者から直接話を聞く機会を設ければ、子どもたちも身近に感じ、残渣も少なくなるように思います。</p>	<p>保育所や学校給食では、地元農産物を使用したメニューが提供されることもあり、農業への理解や食への関心を深める機会となっています。ご意見は、今後、シティセールスプランを推進していく中で参考とさせていただきます。</p>	C
5	P35	<p>P18の八潮市にあつたら訪れたいと思うものに「様々な趣味や教養を手軽に学べる講座など」6.8%があります。取組事例をみると、メインターゲットを20代から30代としているのに、その世代向けの学ぶ場が少ない、というか全くない。コロナ後を見据え、副業に役立つ講座、ビジネス講座等、駅前の施設や公民館・図書館などを利用し、民間のプロの講師による講座の開設が必要です。また、在宅勤務のために安価で利用できるWi-Fi設備の整ったルールの開設なども必要です。又、「やしおdeまなぶ」にふさわしい図書館の図書の実も必要です。</p>	<p>メインターゲットである20代から30代を対象とした講座の開設等のご意見につきましては、今後、シティセールスプランを推進していく中で参考とさせていただきます。</p>	C